

よる洪水が一層ひどくなった。2月23日にボルチモアの中心街で記録された 26°C という高温は、この日としては過去百年以上の期間での最高記録である。

9. アフリカ南部——少雨

アフリカ南部の数カ国では、今季は雨に恵まれたため5～6月の収穫期のあとの食糧供給は良くなる見込みである。しかし、南アフリカ共和国、ボツアナ、レソト、

アンゴラ、モザンビーク南部の1地方では少雨のため農業生産は平年を下回りそうである。

2月中旬にはモザンビークのマプート地方で洪水が発生した。この地方では以前の少雨の影響で生活用のトウモロコシが被害を受けている。

注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している。

(気候変動対策室 真野裕三)

月例会「南極圏の気象」第3回会合のお知らせ

テーマ「南極の雲と降水」

日時：昭和60年5月21日(火) 16:00～19:00

(春季大会の前日です)

場所：気象庁第1会議室

プログラム

1. 極域の雲と降水に関する研究の現状と問題点

菊地勝弘(北大・理)

2. POLEX-North 研究観測のレビュー

藤吉康志(北大・低温研)

3. 昭和基地における雲の特性

和田 誠(極地研)

4. 衛星から見た南極の雲

山内 恭(極地研)

連絡先 気象研究所 伊藤朋之(幹事)

Tel. 0298-51-7111 内線 606

日本気象学会誌 気象集誌

第II輯 第63巻 第1号 1985年2月

新田 勲・中込 縁・鈴木 靖・長谷川直之・門倉 昭：

FGGE年の北半球夏季における熱帯下部対流圏擾乱の全球解析 第I部：擾乱の全球的特徴

加藤内蔵進：1979年5月後半に起こった中国大陸上の梅雨前線帯の構造の急変について

松本誠一・岡村博文：台風8124号で観測された重力波について

藤部文昭：大気境界層の風の日変化に対する気圧傾度の効果

蒲生 稔：筑波における混合層構造の季節変化

那須田 宏：高高度半透明雲の赤外灰色体射出率と可視アルベド

井上豊志郎： $10\mu\text{m}$ 帯窓領域2チャンネルデータによる半透明網雲の温度および有効射出率の算定

横山辰夫・田中 浩・赤枝健治・大谷 健・吉澤宣之・

山中大学・三田昭吉・石坂 隆・小野 晃：融解層を伴った層状性降水の微物理過程の富士山における観測

太田幸雄・大喜多敏一・日下文博：ジアゾメタンによるメチル化法を用いた大気中の硫酸粒子の測定

村上正隆・菊地勝弘・孫野長治：天然の雪結晶によるエアロゾル除去作用に関する実験 第一部：電荷を持たない雪結晶のミクロンおよびサブミクロン粒子に対する捕捉率

村上正隆・菊地勝弘・孫野長治：天然の雪結晶によるエアロゾル除去作用に関する実験 第二部：静止した雪結晶に対する直径0.1ミクロンの粒子の付着率

要報と質疑

松尾敬世：日本付近の雲形別雲量の変動特性

小林愛樹智・林田佐智子・岡田菊夫・岩坂泰信：1983年

春に行なったレーザ・レーダによる黄砂の偏光特性の測定